

作成日： 2024年9月12日（第1版）

西暦2020年2月1日から2023年5月7日までの期間に神経性やせ症と診断された方へ

「神経性やせ症の女子中学生に対する生成AIを駆使した投影法検査の
質的分析」へのご協力をお願い

1 研究の概要

【研究の背景・目的】

神経性やせ症（以下、拒食症）は、有意な低体重と体重増加に対する強い恐怖、ボディイメージの障害を特徴とする病気です。特に思春期の女性に多く見られ、身体および精神、両面の健康に深刻なダメージを及ぼします。現在まで国内外の研究者が言語的な手法を用いて調査を行い、拒食症の患者さんの体験を明らかにしています。しかし、思春期の患者さんは、成人の患者さんと比べ、言語力の乏しさなどから心理社会的な要因の解明が容易ではありません。近年、生成AIの技術革新が、その解明を心理検査の回答を分析することで可能にしました。

本研究の目的は、生成AIを用いて文章完成法テスト（Sentence Completion Test：以下、SCT）の回答を分析し、思春期の患者さんの心理社会的な要因について新たな知見を得て要約することです。

【研究の対象となる方】

西暦2020年2月1日から2023年5月7日までの期間に当院を受診し、神経性やせ症と診断され、SCTを受けられた患者さんを対象とします。

【研究期間】

この研究の実施を許可された日から西暦2028年3月31日まで

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使ってほしくない場合は、2026年3月31日までにご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、すでに個人が特定できない状態に加工されている場合等は、あなたの情報を取り除くことができません。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下のWebサイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆様へ”】

URL：<https://ncu-cr.jp/patient>

2 研究の方法

この研究のデータとして取得する情報は、患者さんの基本情報（年齢や教育年数、就学状況等）およびSCTの結果（回答文）です。その利用目的は、患者さんの言葉を、生成AIを介して解釈して記述することで、患者さんの体験に近づくことです。診療において実施されたSCTの結果は、デジタル化して保存されます。保存時に、氏名にアルファベットを順に割り当てるなどして個人が特定されうる情報を削除します。その上で、回答文を生成AIで解析した結果が分析されます。分析は、得られたデータを意味のまとまりに区切って名付けする洗い出し段階のコード化と、より大きな意味のまとまりを作るため、コード間の類似性と相異性に注目し、サブカテゴリー、カテゴリーを名付けするまとめ上げ段階のコード化の2段階から成ります。分析の結果を学術雑誌や学術集会で発表する際にも、個人が特定されないよう十分留意します。

共同研究機関の星ヶ丘マタニティ病院において収集した情報は、ファイル化され、パスワードが設定されます。そのファイルを、ウイルスのチェックが十分されている電子機器を用いてセキュリティの確保された研究用のクラウドにより研究代表機関である名古屋市立大学に提供します。名古屋市立大学においてデータを取りまとめ、宮城大学と共同で上記の解析を行います。提供された情報は、名古屋市立大学が責任を持ち管理します。

3 この研究で用いるあなたの試料・情報の内容について

この研究は、西暦2020年2月1日から2023年5月7日までに名古屋市立大学病院と星ヶ丘マタニティ病院に受診された時の医療情報を用います。用いられる医療情報は、下記のとおりです。

- 基本情報（年齢、教育年数、就学状況、生活状況、サブタイプ診断、発症年齢、罹病期間、入院歴、BMI、最低体重/最高体重、月経関連情報、合併症・併存症、自己誘発性嘔吐、常用薬）
- SCTの結果（患者さんの記入文、公認心理師/臨床心理士の解釈文）

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学を中心として、複数の研究機関が共同で実施します。実施体制は以下の通りです。

	研究機関の名称	研究責任者	研究機関の長
研究代表機関	名古屋市立大学	白石 直 (研究代表者)	郡 健二郎
共同研究機関	宮城大学	谷津 裕子	佐々木 啓一
	星ヶ丘マタニティ病院	井口 敏之	近藤 裕子

5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、個人が特定されうる内容を削除し、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。また、あなたの氏名に番号を割り当てて対応表を作成します。対応表

は、あなたの情報を頂いた機関で厳重に管理され、個人を特定する情報は外部に提供されることはありません。なお、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表する際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は、日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)（課題番号：23K02964）により実施するものです。

利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。また、共同研究機関においても各機関の規程に従い、適切に対応しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で資料をお見せしたり、お渡ししたりすることが可能です。

なお、あなたの情報が他の研究機関に提供され、この研究に利用されることを希望されない場合は、お電話でご連絡ください。ただし、すでに個人が特定できない状態に加工されている場合等は、あなたの情報の利用を中止することができません。

【連絡先】

星ヶ丘マタニティ病院 小児科

電話番号： 052-782-6211

（対応可能な時間帯） 平日9時から17時まで（月・水～金）

対応者： 井口 敏之

【研究代表機関】

研究機関名： 名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野

研究代表者： 白石 直

連絡先： 052-853-8271